



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和2年9月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
9月1日(火) 14:00～16:00	働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～ ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	24
9月4日(金) 14:00～16:00	職場のアルコール問題の解決 従来のアルコール問題対策はもっぱらアルコール依存症者の治療でした。しかしまだ依存症に至っていない問題飲酒者はその数倍はおり、多くは健康診断の事後措置の対象者になるのですが、対策が遅れていました。この講義では節酒指導を中心に産業医活動で実施可能なアルコール問題対策を考えます。	㈱ジャパンEAP システムズ 取締役・顧問医 米沢 宏	生涯・専門2	24
9月8日(火) 14:00～16:00	建設現場の職場巡視 建設現場の安全衛生管理は、他職種と大きな違いがいくつかあります。基礎工事から完成までの有限性であること。その間使用する機材、有害物質が多種多様にわたり、労働者への曝露やハザードも様々であること。他職種にはない短期請負制度があること等です。そうしたことを把握した上で、しっかりとリスクマネジメントが求められています。「百聞は一見に如かず」です。まずはスライドで現場を「御一見」下さい。	土屋 謙	生涯・専門2	24
9月11日(金) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	16
9月15日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑩～職場のハラスメント～ 労働施策総合推進法等の改正により、パワーハラスメント対策が事業主の義務となり、セクシュアルハラスメント等の防止対策も強化されます。ハラスメントに関する判例を基に職場のハラスメントについて解説します。	弁護士 西園寺 直之	生涯・更新2	24
9月17日(木) 14:00～16:00	産業医が知っておくべき労働基準関連法～労働基準法と労災保険法を中心に～ 昨年の働き方改革関連法において労働基準法の中に長時間労働者の健康確保対策が盛り込まれるなど、産業医は労働時間制度だけではなく労働基準法に関して幅広い知識を必要とされるようになっていきます。また、例えば過重労働等による健康障害で労災という場面を考えれば労災保険制度等の基本的な知識も必要です。今回は労働基準法と労災保険法を中心に、産業医が知っておくべき労働基準法に関連する法律について解説をします。	中山 篤	生涯・更新2	24
9月24日(木) 14:00～16:00	事業場における治療と仕事の両立支援 がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行う産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。	内田 和彦	生涯・専門2	24

◆保健師・看護師研修◆

日時	テーマ	講師	単位	定員
9月2日(水) 14:00～16:00	職場の感染症対策～新型コロナウイルス対策を中心に～ 産業保健スタッフの業務として職場の感染症対策の重要性が増えています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、現在流行中の新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	濱田 篤郎	単位なし	12
9月7日(月) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	単位なし	12
9月9日(水) 14:00～15:20	労働衛生管理の基礎と事例 ～過重労働、長時間労働のメンタルヘルス不調者の早期発見と対策について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。 最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	10
9月16日(水) 14:00～16:00	高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～ 職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	12
9月28日(月) 14:00～16:00	ストレスチェック制度を実施しての今後のゆくえ 毎年ストレスチェック制度を実施して、その効果や活用はいかがでしょうか。今後の方向性、「ストレスの気づき」と「職場環境の改善」の両輪を活かすために実際にどう対応されていますでしょうか。 少しでも職場環境の改善が見られたこと、どんな成果をもたらしているか、先行事例をみながら、方向性を考えてみましょう。ストレスチェックの結果をより意味のあるものにするために何が必要なことか、実践しながら考えてみませんか。ご参加お待ちしております。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	12
9月29日(火) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座③ 「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあり、また、付随する規則類も多岐にわたります。 本講座ではテキストに当センター発行「令和元年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について7月から毎月4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介いたします。 今回はその3回目です。心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾患等について解説します。 なお、「令和元年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	12

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
9月2日(水) 14:00～16:00	職場の感染症対策～新型コロナウイルス対策を中心に～ 産業保健スタッフの業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、現在流行中の新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	濱田 篤郎	12
9月7日(月) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	12
9月9日(水) 14:00～15:20	労働衛生管理の基礎と事例 ～過重労働、長時間労働のメンタルヘルス不調者の早期発見と対策について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。 最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	14
9月16日(水) 14:00～16:00	高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～ 職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	12
9月28日(月) 14:00～16:00	ストレスチェック制度を実施しての今後のゆくえ 毎年ストレスチェック制度を実施して、その効果や活用はいかがでしょうか。今後の方向性、「ストレスの気づき」と「職場環境の改善」の両輪を活かすために実際にどう対応されていますでしょうか。 少しでも職場環境の改善が見られたこと、どんな成果をもたらしているか、先行事例をみながら、方向性を考えてみましょう。ストレスチェックの結果をより意味のあるものにするために何が必要なのか、実践しながら考えてみませんか。ご参加お待ちしております。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	12
9月29日(火) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座③ 「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあり、また、付随する規則類も多岐にわたります。 本講座ではテキストに当センター発行「令和元年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について7月から毎月4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介いたします。 今回はその3回目で、心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等について解説します。 なお、「令和元年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	12